

(竜王西小) 学校 学校関係者評価書

令和3年2月5日(金)

(竜王西小学校) 学校関係者評価委員会作成

第1回 学校関係者評価委員会

実施日：令和3年 2月 1日(月) 午後3時～

会場： 竜王西小学校会議室

参加者：(学校関係者評価委員)

学校評議員 高相 治夫 植松 章子 伊藤 浩 功刀 妙子

保護者代表 清水 若菜

(学校側)

校長 新海 淳 教頭 大石 浩雄

教務主任 花形 健一

I 学校側から提案された内容

- ・教職員自己評価結果と考察
- ・児童アンケート結果と考察
- ・保護者アンケート結果と考察
- ・創甲斐教育の数値目標についての結果と考察
- ・課題改善に向けた今後の取組

II 協議された主な内容

- ・校務支援システムの導入と利用について
- ・キャリアパスポートについて
- ・いじめの解消について
- ・病気やアレルギーがある児童への対応について
- ・家庭環境と子どもの生活習慣について
- ・読書への取り組み充実について
- ・卒業式や入学式について

<学校関係者評価書>

I 全体評価

- 教職員自己評価の結果から、学校教育目標の具現化に向けて、やるべき教育活動を、まじめに一生懸命に、チームとして取り組むことができている。
- 児童アンケート・保護者アンケートは肯定的な回答が多く、多くの児童は楽しく充実した学校生活を送っている。また、多くの児童・保護者は規則正しい生活を心掛けている。少数回答であるが、就寝時刻や朝食、ゲーム時間などに課題がある児童に対しては本人・家庭への指導と支援を継続的にしていく必要がある。

II 特徴

- 学校教育目標・学校経営については、竜王西小の教育活動の方向性が明確で、校長先生の考えが全職員へ浸透していることがわかる。前年度課題であったPDCAサイクルの向上についても成果がでた。
- 感染症対策を行わなければならない状況でも授業参観や学校開放日などを行う、便りやメール・ホームページ等を通じて情報発信をすることができていた。感染症対策そのものについても教職員・保護者・児童が高い意識で取り組んでいる。

Ⅲ 今後の課題として意識されたいこと

○校務支援システムの導入と利用について

- ・校務支援システムが導入され事務的な業務の改善が図られた。システムの導入により県内どこに行っても同じサービスが提供されるようになることは良いことだ。こうしたことが導入されたメリットを最終的に子どもの教育に反映できるようにしてほしい。

○キャリアパスポートについて

- ・子どもが自分自身の学びを振り返ることを長い期間に渡って取り組むことは良いことだと思う。だが、こうした新しい取り組みが始まることによって先生方の業務が増加して多忙化を招くのは望むところではない。業務の効率化・多忙化の解消と子どものための新しい取り組みを両立させていってほしい。

○いじめの解消について

- ・現在のいじめの解消状況が報告され継続取り組み中のことであったが、それが、深刻な内容のものというよりも、当事者同士の謝罪といった表面的な解決ではなく、いじめられた児童の心情までを考慮しての継続指導であると聞いて安心した。いじめは、場合によっては非常に根深い問題を含んでいる場合もあるので今後も適切な対応をしていってほしい。

○病気やアレルギーがある児童への対応について

- ・今年度、病気やアレルギーで対応が必要な児童が多くいたが、それぞれ適切に対応できている。今後も保護者・学校が協力しながら安全に十分配慮していってほしい。

○家庭環境と子どもの生活習慣について

- ・一部ではあるが「朝食を食べない」「就寝時刻が遅い」「学習以外でスマホ等を使用している時間が長い」「家庭での読書時間が短い」といった状況は、家庭環境の変化や保護者の考え・ライフスタイルの影響も考えられるのではないか。すべてそれが原因であり保護者の責任であるとは言えないが、親への啓発や必要な支援を地域と学校が連携して進めていけるとよいのではないか。

○読書への取り組み充実について

- ・学校で行っている読書活動充実の取り組みは評価できる。一方、家庭における読書量が少ないことについては、家庭や児童による部分もあるのではないか。場合によっては、本を借りたけど読まずに返却したとしても、本を借りたこと自体を取り上げて対話をし、そこから読むことにつなげていくこともできるのではないか。しっかりとした読書はハードルが高いという子にも対応できるような柔軟な方法を広めていけるとよいのではないか。

○卒業式や入学式について

- ・新型コロナウイルス感染症の影響で今年度の卒業式や、来年度の入学式についても参加できる人数が制限されると思うが、できるだけ保護者が参加できるような体制を工夫してほしい。

○第2次創甲斐教育について

- ・今年度新しくなった創甲斐教育推進大綱で数値目標として挙げられた多くの項目が現時点では未達成である。令和6年度までを見通して達成できるよう取り組んでほしい。

※特記事項

記載責任者（竜王西小学校 学校関係者評価委員） 氏名： 清水 若菜 印